神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
4
守月史貴
KAMI ZUKI SIKI
RED

神さまの怨結び 4

❖かみさまのえんむすび

守月史貴

Champion RED Comics

怨(えん)結びの呪いとは??

消したいほど憎い相手と交わり、怨を結び、その者を消滅させる呪い。表面的な代償は交わりだが、真なる代償は行使した者も世の縁から外れることにあり、縁の外れ方は人により違う。ごく稀に呪いを使わずに蛇(くちなわ)に返す「呪い返し」という現象が起こることがあり、その時、蛇は吐血するほどの厄を受ける。

やっぱり蛇は、どこまでいっても"呪い"なんだ

クビツリ

■蛇の神社で首つり自殺をして以来、呪いを望む少女を蛇の元へ誘う役を担うようになった。実は今も死んでいる状態で、とある事件で左腕を失った。蛇と呪いを悪だと断じながらも、呪いの被害者を救うため、今も蛇の使いを果たしている。

怨結びに関わってしまった人間たち

櫻 さくら

■物語上に於ける怨結びの最初の犠牲者。呪いで同級生を消してしまう。今は刑事となり、怨結びを追っている。

鳥羽 渚 とば なぎさ

■手を褒めてくれた教師、郷地に恋慕する。その想いはやがて……。両親は亡く、祖母と二人暮らしである。

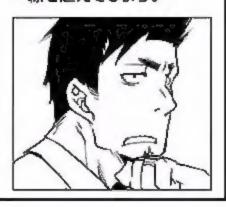
郷地 勲 ごうち いさお

■「手」に一家言を持つ美術教師。婚約者がいながら生徒である鳥羽の手に惹かれ、一線を超えてしまう。

生徒と教師、それは禁断の関係

鳥羽渚は、美術室で独り、絵を描いていた。そこへ顧問の郷地がやって来る。かつて彫刻家を志し、手に並々ならぬこだわりのある彼は、鳥羽の手を「理想の手」と見初めてしまった。これがきっかけで郷地に惹かれ始める鳥羽。

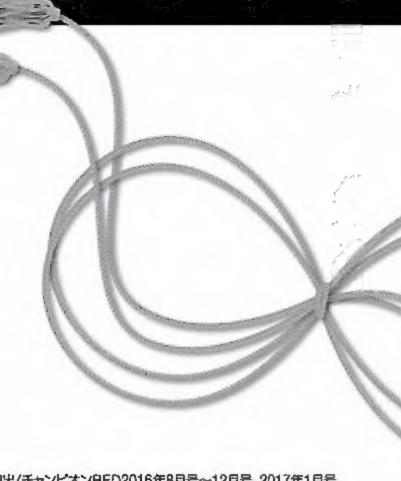
だが郷地には婚約者がいた。それを知った鳥羽に魔が差し込む。

その心に生まれた魔を蛇は見逃さず、鳥羽に怨結びを授けた。

だが鳥羽は、郷地と怨を結ばず、彼が大好きな「手」のみを使った行為に留める。

そしてその場を写真に撮った鳥羽が、郷地を追い詰め始めた。

もうしばらく……私と遊んでよ♥ センセ……

生徒と教師は、女と男の関係に? 果たして!?

目次

初出/チャンピオンRED2016年8月号～12月号、2017年1月号

わあ…キレイな手

これお兄さんが作ったの？

勲兄ちゃんにこんな特技があったとはねー

あんな見てくれで意外と繊細なとこが―あるもんだ

よっ よっけーなお世話だ どうせ似合わねえよっ

つかお前はもう触んな！

えー――

この手 彫刻なのにすごく温かい感じ……

でも違ったのね

霞ね お兄さんはいつも怒ってるからちょっと怖い人なのかなって思ってたんだけど

第十六節 ❖ 手遅れ

だってお兄さんの
作った手は
こんなに
優しそうなんだもん……
それまで ただの
〝妹の友達〟だった霞を
意識し始めたのも
俺が持つ
『造形物の手』への
執着に気が付いたのも
思えば あの出来事が
きっかけだった
かもしれねえ……
鳥羽の手は
冬でもねえのに
ひんやりしていて色白で……
まるで
作り物のそれだ
――センセって
優しく触って
焦らされるの…
好きですよね

おい……こんな場所で
誰かに見つかりでもしたら
俺だけじゃねえ
お前まで……
あ
カタくなった
……
……鳥羽はあれから
こうして時々誘ってくる
俺に拒否権は
ない――
あの写真が
ある限り……
…頼むから
これっきりに
してくれ
もう……
スッ…

……ダメです
私の〝お願い〟は
まだ終わってません……
お おい…
センセだって
ここでやめる気
…ないでしょう?
ゥ…ッ

うっ…!!
これだと センセから…
見て
大好きな手しか 見えないね
……!!
あは… 興奮しました?
……仕方ないよ…
だって私には 例の証拠写真も… 『怨結び』の力だって あるんだから
センセは絶対 逆らえないの
……ね? センセは悪くない
だ …だから

私にも・・・
さ
さ
触っ・・・て・・・
ください…

っで

出来ねえよ そんなッ

そっ…教師の俺が生徒にそんなこと

さ 触って くれたら

すり…

も…もっと

“気持ちよく…して あげるから……”

だ!だめだ!!

それだけは…!!

駄目だ

もっと気持ちよく

鳥羽に ふっ触れたらきっともう俺は

女の子にここまでさせておいてまだ保身に走るのか?

駄目だ—

…あっ!
ちょっと
つよ…っい
せっ…ん
せえっ…
んっ
ううつ!
ッ!!!
ふっ❤

ぱたたっ…!

やっちまった……

はぁ
あ、…あは
なん…ですかね？
これ……
なんか腰から下…
ふわふわしちゃって
チカラ入んない……
は
こーいうのを
イクって
言うのかな…？
はぁ

センセも…
…気持ちいい？
…ああ……

よかった

最低だ

脅されてるなんて…てめえに都合の良い言い訳だ

結局のところ俺はいけないことだと分かっていながら

ただ快楽にずるずると流されてるだけだ……

ザザ…ン

鳥羽渚(とばなぎさ)

……初めて会った時とは

随分と雰囲気が変わったな

あー
クビツリ…さん？
でしたっけ
……どういうつもりだ？
呪いを貰ってからずっと…あんなこと繰り返してんのか
はたから見たって殺意や怨みはもう一切感じられねえ
お前は呪いを上手く利用してるつもりかもしれねえが
怨結びはそういうモノじゃねえんだよ
こんなこと続けてもなんにもならねえぞ

エッチ。
ずるっ

エッ…!?
だってずーっと覗き見してたんでしょ?

女の子たちが怨を結ぶところも見てきたんですかー?
エッチ。
好きでやってるわけじゃねえよ!!

見届けるのが俺の役目なんだから仕方ねえだろが…
なのにお前は一向に使う気配がねえ
だから蛇に言われて真意を確かめに……
ブッ
ブッ

……で

呪い人の目的はなんと？

分からねえ…
ただ“どんな形であれ必ず呪いは成就させる”
…とだけ
あとは――
……その腕
どうしたのか聞いてもいい？
……………
代わりに何でも答えてくれるって言ったじゃないですかー
はーー…
……………

…無くなった腕の先には——

お前のそれと同じ『印』があったんだよ

だがまあ……色々あって

呪いを急遽中断しなくちゃならねえ事態に陥った時——

荒療治だが腕ごと蛇に落として貰ったんだよ

呪いを・・・

『俺ごと絶ち斬れッ』!!!

腕を落としてまで…
…本当に馬鹿が付くほどのお人好しですね
あとはどうでもいい質問ばかり……
結局ただの暇つぶしに付き合わされただけなんじゃねえか…？
クビツリ
今回の依頼人…くれぐれも気を抜くでないぞ
……？
必要とあらば妾が直接確認する
…ああ 呪い返しを警戒してんのか…

ただいま

渚…

!
おばあちゃん！
起きたの⁉
渚さん
ミズエさんの
ご希望なのですが…

………
……

…分かりました
おばあちゃんが望むなら……

――ここ
良い場所でしょ？
秘密の穴場
なんですよ
昔…おばあちゃんに
叱られると
よくここに隠れてました
野外の中では最高の
シチュエーションだと
思いませんか？
な〜んて
…鳥羽
お前
何かあったろ
わざわざ学校外で
こんな時間に
呼び出しなんてよ…
よっぽどのことなんだろ？
…話してくれなきゃ
俺には分からねえ
……

色々…考えたんだ
どんな最低の屑でも今の俺は――まだ教師だ…
今までお前としたことはなかったことにはできねえ
…だが!!
自分自身の過ちも含めて教え子を導く教師として…全てを正さなきゃならねえ
頼む…! 悩みがあるなら俺に話してくれ!!!

鳥羽――……
……あーあー!!
センセにはガッカリしましたよ
ぽかん
もしかしてー生徒に好意を寄せられてるとか…
本気で思っちゃってましたー?

この印はね
男女を結びつけるお呪いなんかじゃないんです
セックスをして相手を消すための
呪い…なんですよ
なっ…
私はこれで…結婚を控えたセンセを見て
その幸せから引きずり下ろしてやろうって…思ったんです
だって ずるいじゃないですか…

私に気を持たせるようなこと言って…勝手な持論を押しつけて！
なんとかなるなら先生がなんとかしてくださいよ!!!
…できませんよね
私はもう これからどうしていいのか分からない…
だから…センセを道連れにしようとした
それだけなんです
と…鳥羽…？おい…さっぱり分からねえぞ…
冗談だろ？呪いとか消すとか…真面目なお前がそんな話…
…本気ですよ

!!
よせ…っ
やめろ!!!
さす、
さす、
俺は今日 そんなことを させるために ここへ 来たわけじゃねえ!!!
…あはっ 本当に口ばっかり…
センセのこーゆー 正直なトコは好きですよ
…でも ちょっと意地悪 しちゃおっかな
ふぁさ…っ
ほら…
これだとセンセの大好きな 手が直接触れなくて… もどかしいでしょ?
私を怒らせた 罰ですよ

中途半端な同情なんかいらない…
それならいっそ憎まれた方がずっとずっとマシなんです!!!
…ねえ
センセを怒らせるには…どうしたらいい？
…たとえば
センセが大切になさってる婚約者さんを——
あいつはなんの関係もないだろ!!

もう駄目だ…
限界だ!!
俺はとんだ勘違いをしていた!!
あいつは悩み多き生徒なんて生易しいモンじゃあねえ…!!
呪いだの消すだの…っ
完全にトチ狂ってやがる!!
俺がなんとかしねえと…
このままじゃ無関係のヨメや家族まで——、
うおお!?

お…？
蛇…どーいうことだ？
こいつは…標的のはずじゃなかったのかよ
ふん…そのはずだったがな
妾に声が届いた以上は標的だろうがそやつも呪い人だ
だが…面白くなってきた……
妾はあの娘に興味が沸いたぞ
あやつをもう一度此処へ連れてこい

神さまの怨結び

第十七節❖手引き

さて……
怨結びの呪いは
知っておるか？

ここは…
エンムスビ…
呪い？
確か鳥羽の
言っていた……
あ ああ…
俺の教え子が
そんなこと…を…
――てことは
こいつが……

こんな女の子が
鳥羽に――
呪いを与えた
張本人なのか……!?
妾に声が届いた以上
そなたもまた
呪いを得る権利がある

それで…
そなたは・・・・
どうしたい？
どう…って
俺は……鳥羽が
ヨメに何かする前に
ただ なんとか
しれえと って……
セックスをして
相手を消すための
……
──俺が……
俺が
その呪いを
貰ったら
どうなる……!?

――夢…
じゃ ねえ
鳥羽の言う「エンムスビ」とやらは
なら鳥羽は正気だったのか…？
……いや
本当に実在した――……
あれは――
狂気だ
勲さん!!

霞・・・？
どうした？
こんな時間に――
どうしたは
勲さんの方
だよ!!
何度連絡しても
携帯繋がらないから
心配でわたし…っ
へ…？
すっ
すまねえ
いつの間にか
マナーモードにでも
変わっ……
ぐすっ
ぐすっ
ずび～
携帯が……
ねえ……
…まさか……

第十七節❖手引き
……来たか

ザッ
ザザ・・
よく連れてきてくれたの
クビッツリは少々下がっておれ
あ？
妾は・・・この呪い人と二人で話がしたい
さて……娘

そなたが呪いを弄ぶうちに
呪われるはずの標的が神社へやってきた
では何故そなたが再びここへ呼ばれたか……
分かるかの？
……
くっく……
そう警戒せずとも良い

妾は ただ
そなたに興味が
あるだけだ
呪いを行使
するでもなく……
ピクッ
スス…
かといって
妾に呪いが返る
わけでもない……
ゆっ…

ならばそなたは
呪いの先に――
何を望む？
……っ
ッ…
……それを
聞きたくて
呼んだのだ
……ああ
それと

クビツリは おらぬ方が話し易かろうと思ったが……

違ったかの？

……！

私の望みを話したら……
叶えてくれるの？
……さあの？聞くだけ聞いてやる
申してみよ

…………
遅かったな……
…おい？
どうした
！
…か 帰り ます…

見届けよ

そなたに出来ることはそれだけだ

……っ

……蛇の あの顔
あれは…… よくない顔だ
蛇には善悪の区別がつかない
あいつはそれを自覚しているからこそ
ずっと俺に わざわざ見張らせてきたってのに
なんだって今回は……
……
怨結び同士の
呪い合い……

蛇のやつ……!
まさか初めから「それ」を狙って
あの教師に呪いを……!?
キーン
コーン
ザワ
ザワ
!

あれー鳥羽さん
マスクに長袖なんて
もしかして
風邪ー？
あ……うん

ちょっと昨日冷房に
当たり過ぎちゃった
みたい
先生来たら
保健室行ってる って
伝えてもらえる？
いいよ〜
お大事にー

…鳥羽さん家って
冷房とか
あるのかなあ
えっ？
なにそれ
いやーありえないし
私クーラーないとか
絶対ムリ！
家見たことあるけど
すっごいボロ屋
だったからさぁ
しかも
おばーさんと
二人暮らしとかで
生活
どうなってんの？
っていう
ヨロ…

……っ
はあっ…は…っ
大丈夫…私は
は…
…やれる……

──鳥羽・・・！

携帯……無くしたんでしょう？

待っ……てますよ…

今夜…昨日の場所で

!!

──鳥羽
やっぱりお前がっ……

……っ

本当に──
…出来るのか？

霞のヨメのために
鳥羽を……
生徒を手にかけるなんて
……こと……が……
大丈夫…

お嫁さんにはまだ何もしてませんよ……

……まだ…ね

やっぱりやるしかねえ…

ヨメのためには鳥羽の存在が邪魔なんだ…!!

海沿いのチャペルとか人気だけどさぁ
あたしら じもてぃーにとっては身近すぎてなんか違う感ない？
うーん…あ でも海辺は好きかも
近くじゃなくてもっと遠い他の街でも……
あれっ 勲兄ちゃん今から出掛けんの？

最近…何か悩んでるんでしょ

な…っ

…なんで

そう…思うんだ？

ん
いつもより難しい顔してる…
辛いことあるなら相談して？
……眉間にしわ
ぎゅっ…
……？
すまねえ…
……俺は

俺は大馬鹿者だ…!!

何が〃二度と結ばれないとしても〃だ
お前にはとうにそんな資格はねえんだよ!!

こんなに健気なヨメさんが居ながら鳥羽に…
鳥羽の手にどうしようもなく惹かれて 俺は
……すまねえ…俺は…

〃怨を 結べば…〃

通常 呪った相手は消え
そなたは『縁（えん）』を失い
生涯誰とも結ばれぬ
……だが 今回は
少々事情が異なる
なにせ
怨結び同士の
呪い合いだ
場合によっては二人とも消えるやもしれぬ

相打ちに なろうが なるまいが…

俺は霞の前から 姿を消そう

そうすりゃ こいつは何も知らず

いつかは……

新しい相手と 巡り会うことも……

ギリッ

……蛇
お前にとっては
今もまだ
呪い人は…あいつらは
封印を解くための材料で
怨結びの呪いを採る
道具でしかないのか…？

…せっかく
センセに
あげるんだから
ちゃんと
キレイにして
いかなくちゃ……

ザザ
ザ
ザ
良かった
その顔……やっと覚悟してくれたんですね
センセも「怨結び」…貰ったんでしょ？

さ……
呪い合いましょうか
センセ❤

神さまの怨結び

怨結(えんむす)び同士の呪い合い――

蛇(くちなわ)は初めから　これを狙って――…

……あ
そうだ！

いけない いけない
先に携帯返さないとですね
うっかり忘れるとこでした
その必要はねえ
俺はこれから怨結びとやらで消える…
お前も
そうだろう?
……
……そっか
センセも ちゃんと…聞いたんですね

俺に
できることは……

ぎゅっ…

霞が一番
傷つかねえ方法で——

あいつの前から
消えること だ

結局俺は お前の
不安も孤独も……
何一つ分かって
やれてねえ……

それなのに
勝手な御託を並べて
悪かった
……別に
そんなこと…
だがな

それでも
お前の行動は
無茶苦茶だ
仮に親族を亡くして
天涯孤独になっちまっても

そいつは今
未来の全てを投げ捨てて
消えるに値するほどの絶望か?

あ――……
改めて そう 言われちゃうと…
どうなんでしょうね？
は…
どうなんでしょうね って お前 おい…
たたっ
おい!!
ぱっ
ぶっ

あはっ
あはははっ
びっしょり
……。
あは……
…はぁ〜
気持ちいー
…逃げ出したいのは
たぶん
ホントですよ

もう私が家に帰ってもおばあちゃんは二度と目を覚まさない
何だと…？
もともと ほとんど寝てるばかりでしたけど
今度こそもう最後……
…おばあちゃんが決めたことなんです
あとは主治医が来て診断して……それで死んだことになるらしいんですけど
……なんだ？
なんなんだ？こいつの言動……
いつの間に そんな手続きしてたんだーって感じですよ
……
…
たった一人の家族なんだろ？
まるで他人事みてえに……

以前から鳥羽は淡々として

掴み所のない生徒だったが

本当の鳥羽なんだ？

〝甘えるな
わがまま言うな
迷惑かけるな〟……

ただでさえ私は
両親が居なくて
引き取られた身で

自分を殺して…
良い子になるよう
がんばりました

だからかな……
私 いつも他人と
一線引いちゃう癖が
あるっていうか
その線を越えて
完成させるのが
怖いんです
だって行き着く所まで
行ったら…後は終わる
だけじゃないですか
そうか
あの絵…
鳥羽が決して
完成させない作品は
そういうこと…
だったのか…
私が距離を置いてれば
周りも自然と——
踏み込んでこなかった
それも楽で
いいやーって
思ってたんですよ
——でも
あの時 センセが……

センセが興味あるのは
私の『手』だけだ って…
分かってましたけど
それでも…
嬉しかったんです
あんな風に——
関心を持って
貰えたことが

そしたら
もっと私に構って欲しい
……よせ……
手だけじゃなく私自身を見て欲しい……って思いだして
よしてくれ
止まらなくなっちゃった
俺たちはこれから呪い合う関係だってのに

センセがそんなんじゃダメなんですよ
!?
…だってセンセは今でもお嫁さんの心配なんてしてる
ねえ…おかしいでしょ!?
まだ私に同情する余地すら見せたりして!!
!

おっおい…何やってんだ鳥羽!!
……あは

…今ね
センセの携帯に移しておいた『あの写真』……
婚約者さんに送っちゃいました♥

鳥羽
ああ
あ!!!

お前はどこまでーーー!!

あは…っ

それでいいんです…っ

もっとッ憎んで!!

俺にはもう
何もねえ
守りたかった奴も
隠すべきモンも全部…
全部烏羽が
一つ残らず
ぶち壊しやがった
その上
これから悩くて
たまらねえ女と
呪いなんて
ワケのわからねえ手段で
心中じなくちゃならねえ
こいつは
どんな冗談だ？
あ
あ
は

消すほど憎くて
あ！
センッ…
憎くてたまらねえ
たまらねえ筈なのに——
……っ!!

なんでこんなに

昂るんだ？

あ
!
痛っ…

びッ!?

いた
待って
む 無理
ムリっ…い!!
…っひ
ほ ほんとに
だめ…っ
あ ぁあ…ッ

痛みを堪えて
握りこまれた白い指も
もう何もかもどうでもいい
誰も受け入れたことのない身体を
蹂躙している感触も
ひゅっ
ただ
目の前の鳥羽だけを——

これで鳥羽(おまえ)はッ
鳥羽の全部が今!!
俺のもんだ!!!

はあ…はっ
はっ…
ザザ…
ザッ
はっ
ザ…ン
…ああ…
ザザッ！
俺の本性はこんなにも
醜かったのか・・・・・

センセの気持ち……
すごく痛かった……
剥き出しの感情ってこんなに痛いんだ…
…あー…本当に私今まで誰とも触れ合ってこなかったんだ…なぁ
……鳥羽 お前…何を
!?
怨結びの印…が…
〝相手を消すための呪い…〟
鳥羽! おっお前の印もこうなって…!?

あ…鞄の 中にね…
センセにプレゼントが
あるんですよ
何かは開けてからの
お楽しみ…って
やつです
要らなかったら
捨てていーんで
鳥羽…
あと…えーと
…鳥羽
お前どういう
つもりだ…
……あ そうだ

いろいろ騙してすみませんでした

なんで…っ
お前の呪いが!!
手首がねえんだよ!!!
……
センセ…

わたしたち……
結ばれたんです……よ……ね……

〝本当に私 今まで誰とも 触れ合ってこなかったんだ…〟

最後の最後まで お前だけ 本心を 明かすことなく……

勝手に 一人で消えちまいやがって…

馬鹿野郎……

神さまの怨結び

第十九節❖願いの果て

……なんだと？

もう一度申してみよ

一日前　神社

……私の——手

『印』の入った左手首を……

第十九節❖願いの果て

あっはは!!

あははは!!!

…なるほど
成る程そなた…

クビツリから
奴が失った腕の話を
聞き出したのか

そう……

あなたなら簡単に
…切れるんですよね

そうして…
切り落とされた
私の呪いは

発動…
しなくなる

……それで？

そなたの猿芝居で
教師に怨を結ばせるよう
仕向けるつもりか
クビツリ…さんの
話を聞いてから
ずっと考えてた…
でも 踏ん切りが
ついたのは
おばあちゃんが
死んじゃうって
決まったから
自身が
消えることを
恐れぬのか
消える……？
…ううん
違う
…私のおばあちゃん――
床に伏せてからは
元気だった頃の
見る影もなくなって
このまま最期まで
痛い 痛い って……
苦しみ抜いて死ぬんです
それをずっと
見てきて…
私…
私…は

私は…そんなの嫌!!
残された人に
そんな最期を焼き付けて
お別れなんて…!!
絶対にイヤなの!!
……私なら
『最高に幸せな姿』で
大切な人と別れたい…
綺麗に終わりたい
なんか そういうの
憧れるじゃ…ないですか
……そんな
夢みたいな話が

怨結びを使えば・・・・・・・・・・・・可能になる
………
…だが真実を知れば――
あの男が背負うものはさぞ重かろう
そなたの身勝手な願いで
大切な人とやらが呪いの代償を一生抱えることになるが
それは構わぬのか？
センセには……
センセが褒めてくれた…私の一番大切な手を…贈ります
私にあげられるものは…それくらいしかないから
それでチャラになるなんて思ってませんけど…
――でも大丈夫

私───
人の本音を見抜くの上手いんですよ？
……ほう？
ずっと他人の顔色ばかり伺ってきたからかな…
確かにセンセはお人好しだけど
建前とか立場とかそういう色んなものに隠れたセンセの望みも…
なんとなく分かっちゃうんです
〝その建前全て　剥がすことが出来たら
きっとセンセは　私を───…〟

愛して
しまった

送信先が…ヨメじゃねえ
あいつ…俺のPCに送って……

鳥羽がヨメに証拠写真を送って
何もかもバレて
全てが終わったと…思って
婚約者さんに送っちゃいました♥

俺は

これは報復だ
『美しい手も、柔らかな肉体も』
『全部俺のものだ』
『欲しい』
だから心置きなく鳥羽を壊せる
俺は鳥羽を憎んでいいんだ
『欲しい』

悦んでた……

あいつを憎んだ気になってたのは――

やっぱりやるしか

それが俺にとって一番都合が良かったから

くそったれ…!!

なのに…

あいつは

……色々
〝騙してて すみませんでした〟
——ふ

…ざけんじゃ
ねえ!!!
お前と一緒に消えられなかった俺は!!!
自分だけ綺麗に消えやがって!!
うっかり残されちまった俺はどうなる⁉
——このまま…
何事もなかったみてえに
俺だけ日常に戻れって言うのかよ…
なあ…

…あ えっーと
夜分遅くにスミマセン

私 この携帯の
持ち主の妹で…

あのー 兄はまだ
取りに行って
ませんでしょうか…

………

わたしたち…むすばれたん ですよね…

鳥羽…お前

寂しかったのか

こうして心配してくれる家族も

ただいまを言える相手も…居なくなっちまって

でも もう いいんだ

これからは

……

勲さん？

……ああ
しんぱい…かけたな

いまそっちに
むかうからよ

…表面上 日常に帰ったところで

あの教師はもう…

ザッ…
ザク
ザク
ザッ
ザッ…

……ただいま
…わりいな
きょうもおそく
なっちまった

あいつら なかなか
ねてくんなくってな…
…またちょっと
ほそくなったか？
あ？
そんなこと
ねえよ
きれいにおちたら
おれが もとどおりに
してやっから
いったろ？
てをつくるのが
とくいだって
……ああ
おまえにあうのが
まいにち
たのしみなんだ
渚

……
俺は
俺は…てっきり
お前が
二人を呪い合わせるよう
仕向けてるもんだと
思ってたよ
蛇
……ふん

妾は
ヒトの深淵を覗き
呪いを授ける『だけ』の
神だからの
望みを叶えはするが
人心を操るなど…
妾の領分ではないわ
あやつらの
『望み』は
もとより一つ
ただ 互いを
欲していた
つまり
なるべくして
こうなった――
と いうわけだの
……
互い…？
教師は元々鳥羽が
邪魔だったんじゃ
ねえのか
奴も
初めから
変わらぬよ
…これは妾にも
理解し難いがの

じゃあ…最初から両想いで呪い合おうとしてたってのか？
他に もっと方法は……
なかったのだろうな
あの二人は呪いでしか結ばれぬことをどこかで理解していた
だから呪い合った…
至極単純であろ？

ヒトは望みのためならば

他者も己の心さえ欺き…

仮初めの怨みで神をも動かす

妾にはそんなヒトというものが

何より恐ろしく見えるがの

『自分ひとり消えること』
だってのが理解
できねえんだよ……

少なくとも俺には
そんな風に見えなかった
あいつはどこにでもいる
普通の学生と変わらねえ
自ら消えなきゃ
ならねえほど人生に
絶望しちゃいなかった

願いが
叶ったって
結局誰も
救われねえ……

……そなたも
同じではないか

……あ？
俺が誰と
同じだって――

何故……
そなたは自ら
命を絶った

……‼

手段や経緯に
違いはあれど――
そこには　あの娘と同じ

時を止めるだけの
理由があったのではないのか

……お前に
あの娘を否定する
資格はない

俺は……

俺は何故
死んだんだっけ……？

おい人間
由緒正しき赤縄を首吊りなんぞに使いおって

『…うるせえ』

おかげで目が覚めてしまったぞ

『うるせえな…』

『黙って死なせてくれよ――』

この『蛇』の供物となれたことを
光栄に思うがよい

死んだ…理由…

死んでから――
ただの一度も

振り返らずに・・
ここまでやってきた

『死にきれなかった元凶』と
そいつの呪いを終わらせる
――

それだけを
考えて

…その前は？

…分からない

なにも……
覚えてねえ

一番古い
記憶は――

足下に不敵な笑みを
浮かべて

語りかけて
くる子供…

……そうだ

俺は『生前』の記憶が
すっぽりと抜け落ちている――
どうやって
この蛇の居る神社へ
辿り着いたんだ…？
……そもそも
死ぬ前の…俺は

神さまの怨結び

第二十節❖迷いの杜
お前
これから一人で『オバケ神社』に肝試し行ってこいよ
そしたらオレたちの仲間に入れてやってもいいぜ
ちゃんと お社から証拠品持ってこないと認めねーかんな！
……！
分かった！
……あいつホントに行くかなー？
てか たっちゃんなんで あいつにきびしーの？
だって余所者だし目つきわりーし
今日の昼だってオレのこと睨み付けてよー…
……

第二十節❖迷いの杜

……暇だのー……
今日は呪い人の声もなく…
こんなことならクビッツリを使いに出すのではなかったか…
いや
今のあやつは普段に輪をかけて鬱陶しいから追い出したのであったな
イラッ…
…まったく今更くだらんことで悩みおって

人間であったことを意図的に考えぬよう これまでやってきたのだろうが……
それでは困る
お前は死人であっても・・・・・・人間でいて貰わねば——
ガッ
ザッ
!
クビツリ…か？
そんな所で何をしてお…
なん…だと？

〝お前にあの娘を否定する資格はない〟
……か
蛇の言う通りだな…

覚えてないとはいえ
俺もあの神社で…自ら命を絶ったんだ

〝死ぬ前の俺はどうやって〟
〝この蛇のいる神社に辿り着いたんだ…？〟

――…

ガリ
ばっ
神社って どこにあるの？？
どうやって…？
普通の人間は 俺に触れてなければ 神社には入れないように なってんだ
そうだ
どこにでも現れて 消えるような君に拘束が 意味ないことくらいわかってる
あそこには蛇の使いとなった 今の俺でしか入れない…はず
だから対策を
まさか… こっちの世界にも
蛇の居る神社が 実在…して…
そいつが蛇の元へ通じる 『道』になっているとしたら…
そこの歴史を 辿れば、——
蛇の神社や 赤縄の起源
あるいは——蛇が何故 ああなっちまったかの 手がかりが
見つかるんじゃ ねえのか…!?

おい童（わっぱ）
どうやってここへ
入り込んだ
クビッツリと
一緒ではないのか？
ここ…どこ？
おばけ神社
じゃない…
さっきまで
夕方だったのに なんで
お昼になってんの？
そこへ一人で肝試しに
行けば仲間にしてやるって
言われたから おれ……
おばけ神社？
町外れの
おばけが出る
って噂の神社

こやつ…まさか偶然『入り込んで』しまったとでもいうのか？

ごく稀に こちらの領域…断絶された空間に迷い込む童が居るというが

魂の肉体への定着が不安定な幼少期ならではの現象――……

人間の言葉で言えば神隠し…か

んなっ!?

いっぱいあるんだからちょっとくらい分けてくれたっていいじゃん…

……………

こ…こ…これは
期間限定で
もう来年まで
食べられな…
あ…ああ…
カラッ
ぎょっ
ごごめん…なさい
泣くほど大事だと
思わなくて…けど
お昼も給食のデザート
取られちゃって…
おなかすいてたんだ
…なんだ お前
いじめられておるのか
泣いとらんわ
ちっ…ちがうよ！

って人の話を聞かぬかッッ!!
しらない
…もういい
分かってるんだ
本当は
肝試しに行けば
友達になってくれるなんて
ウソだって
……お前の境遇については
気の毒な部分もあろう
だが人の世で
生きていく上で
縁を避けては通れんだろ
ひとえに縁といっても
良縁と悪縁がある
どちらも同じ
人との繋がりを
指すが——
お前が歩み寄らんとする
努力を放棄すれば
良縁が生まれることはない
縁は
大事にしろ
話が難しくて
分かんないよ…
例えば今!

お前は突然
押しかけてきた挙句
年上の妾に敬意も払わぬ!!
それどころか
他人の菓子を平気で
食いよる!!!
妾は怒る
それによって双方に
悪しき縁が生まれる
というわけだ
分かったか
たわけが
…おねーさん
もしかして
高学年? 中学生とか?
もっとずっと
ずぅ――っと上だ
愚か者め
うわっ…!?

どうだ
お前のような小童には到底無理であろ?
すっ…
すごいすごい! てじな? 魔法? もっかいやって!!
わー!!
ほれっ
よーし おれもやる!!
ただの人間如きに出来るか 阿呆め――
ぶつっ

できた！

はぁ…
はぁ…
は
ふふ…
吾の勝ちだ！
も…
もうむり…
この程度で降参か？
男のくせに
不甲斐ないのー
だって
竹に登るとか
ずるいよー！
おれ そんなの
できないもん
なんだ お前も
昇りたかったのか
……ならもっと良い所に
連れてってやろう
えっ…

うわっ…

わあああああぁあ!!!

わ…あ
ふふん
どうだ 妾は凄いであろ？
うん… ほんとにすごいよ…
空の向こうまで見える……
…ほう お前にはそう見えるのか
だが それはまやかしだ
実際は この世界… 神社の先には何もない
お前が想像したものを見ているにすぎぬ
おねーさんには何が見えるの？
そうだの
…『赤い』
あか？

ああ
辺り一面
どこまでも
赤い世界が
おねーさん？
どうし……――
馬鹿者ッ
手を放すでない――

ん……
…起きたか
怪我もないのに
起きるまで
随分とかかったの
…おねーさん
なんでぼろぼろなの？
えっと…
なにがあったんだっけ
ボロ
うるさい

お前がここへ迷い込んだのは確か逢魔ヶ時だったな
こちらの世界は丁度その頃合いだ

ならば
今神社を出ればあちら側に「繋がる」――やもしれぬ

ここをまっすぐ進み鳥居をくぐれ

それでも帰れぬ場合は…戻ってこい
遅くはなるが使いに案内させる

……家に帰りたいか？

うん！
明日学校行って
あいつらに今日のこと
自慢する！
……。
それは
やめておけ
…ま お前が思うまま
言いたいことを
ぶつけてみよ
どう縁を結ぶか――
全てはそれから
なのだから
？ うん
………
……ねえ
…次は おねーさんが
うちに遊びに来てよ
家…？
何故妾が
お前の家に行かねば
ならんのだ

この町で初めてできた友達だから！
とも…だち？
……ふん何かと思えば…
だがあいにく妾は神社を離れられぬよ
…ここに縛られておるからの
じゃあ

そしたら遊びに来てよ

ユビキリ!

……『ゆびきり』? 約束をしたそばから切ってどうする

ちがうよ!

ユビキリっていうのは約束を切るんじゃなくて…えーと

分かんないけどとにかく『結ぶ』って意味!

じゃあまた明日
明るい時に来るから！
ばいばい!!
スッ
ザザ…
ザ…
……

…ここに人間が
迷い込むのは
クビツリを含めて

二人目…か

あやつに『次』は…
恐らく二度と
無いであろうな…

何故…庇ったりしたのだろうな

たかが人間一人

ともだち…

これが

人と人とが結ぶ――

縁というものか……

……
そなたいつの間に…
いや…今さっきだけど
つーか

蛇…お前 なにニヤニヤしてんだ
気味悪いな
なんか良い事でもあったのか？
…きッ

神さまの怨結び

第二十一節❖月蝕（げっしょく）

あちらの世界で
この神社のことを
調べたい……？
ふむ なるほど
…奇遇だの
奇遇？
何がだ
丁度 妾も
同じことを頼もうと
考えておった
あちらの世界に
こちらへ通ずる「入り口」が
あるんじゃないかと
思ってな
！
何だと…？

……たまたま そんなことを考える機会があっただけだ
……しかし そなたは働き者よの
アテもなく闇雲に探し回って どうにかなるものでもねえ…
身分の怪しい俺じゃ あちらの世界で 動ける範囲も限られる
呪いの仲介に加え 妾のために探偵役まで 買って出るとは
感心感心
べつ 別に てめえのためじゃ ねえよ!!
良い 良い 照れるでない
……。
……とはいえ
どうにか手段を考えねえと——…

少年事件8

あ〜……

件8課

ギシッ

『被害者の会』の一件以来 ヒットありませんねえ〜……

……というか最近回されてくる案件雑すぎじゃありません？

これなんか酷いですよ スナック常連客の失踪事件

現場に血痕が残されてる上にホシの候補は年配ばかりじゃないですか

うちは腐っても少年課だってのー！

ねえ先輩…

櫻（さくら）先輩？

はっ

あ…ごめんなさい ぼーっとして

……

先輩 なんか……
ここの所ずっと
そんな調子っすね
……また
例の縄男のことでも
考えてたんすか？
……
ずっと…ずっと
捜し続けて…
ようやく会えて
せっかく事件の核心にも
触れられそうだったのに…
その時は…
力になってやって
くれんかの
どうしてあの時もっと…
クビッツリさんを引き留め
られなかったんだろう
もっと色々聞けた
はずなのに…って
……後悔してるの
……先輩

…あの男に会ってから
櫻先輩が以前にも増して色っぽい
……ような気がする!!
ま まさか先輩… あの陰気野郎のことを…!?
はぁ
常識が通用しないのが怨結びだからね
そのスナック常連客の失踪も
一見 怨結びが関わっているようには思えないけれど…
分かっているのは 性交渉が必要なことと 被害者の肉体のみが 跡形もなく消えること

けっ…
警部!!

正直
佐々君の言うことも否定できませんがね
いや
そんなつもりは……
冗談ですよ　はは
いいよ
座ってて

だが

放っておけば
犠牲になるのは
多くの子供たちだ
だったら
周りの雑音に耳を貸す
暇などないはずだ
一刻も早く
呪いを突き止め――
我々が怨結び(えんむす)を終わらせる
…という心意気で
頑張ろうじゃ
ありませんか!
それにどんな事件でも
怨結び(えんむす)が関わっていれば
痕跡はある
それを
確認するまでは
我々の仕事だよ
はっハイ……
肝に銘じます

こっ…
怖かったあああ〜〜〜……
私が初めてここに配属された時にも同じことを言われたの
うちのボスは怨結びの話になると人が変わりすぎっす……
……無理もないわ

あの人の場合…事情が事情だから
娘さんが『あんなこと』になっちゃったんだもの……
……私と違って

？
先輩 今なんて…
私 例のスナックへ聞き込みに行ってくるね
えっ じゃあ僕も行きます！
先輩ご飯まだっすよね よかったらついでに…

月乃(つきの)
昨日のホラー特番見たあ？
見た見た いまいちだった～ リサは？
昔は ああいうのいっぱいあったらしいけど当時からこんな感じだったのかな？
どーだろ？
少なくとも あたしはネットまとめの怪談見てた方が怖いかなあ
あー分かるー なんでだろねー
あのナゾの説得力
こーら 月乃

ドア開けっぱなしで盛り上がってるとまーたお母さんに怒られるよー
あっ もしかしてキミがお友達のリサちゃん？
えっ…ははい！
いつも月乃から話は聞ーてるよーゆっくりしてってね♪
……お邪魔します
ペこ
あ…はい…
パタン…
………

二人で何して過ごすんだろ？

お茶して…おしゃべりして それから……

日向（ひなた）…

…あ

待って はやくん…

隣に月乃が…友達もいるのに

声出さなきゃバレないって

んっ…ん

あっ…！

きの…

月乃…？

月乃ったら！
はっ

どしたん？
ぼーっとして
…あ！ あはは
なんでもない…
綺麗でしょー？
自慢のお姉ちゃん
なんだぁ

はぐ……
じーー…

ちょっとー その顔
何考えてるか
バレバレなんですけど!?
言っとくけど
ホントに血の繋がった
姉妹だからね!?
いやぁそんな
つもりは…
あったけどさぁ(笑)
いたたた
この
正直者がー!!

…日向お姉ちゃんはね
ホント凄いの

キレイになるために
毎日いっぱい研究したり
努力して――
自分を磨いて
きたんだもん
勉強できるし人気者だし…
あたしにないもの
全部持ってる
そのくせ
いつだって
優しくて…
AM5:30
自分が辛い時でも
周りのことばっか心配
しちゃうお人好しで…

——だから　あたしは昔から　お姉ちゃんのことが大好きで——

あれっ
お母さん？
いつの間に
帰ってたの？
何も言わないんだもん
気付かなかったよ
おか……
月乃……
お姉ちゃんが…
日向が……

でも

棺桶に入った
お姉ちゃんには

さよならを
言いたくなかった

月乃

たまには オカ研に 顔出しなよ

お姉さんが あんなことに なっちゃって――

……その 辛い気持ちは 分かるけど…

亡くなって…
もう3か月だよ？
けどお姉ちゃんは
今でもあんなに
想われててさ…
ほんと…
すごいよ…
………
ね
…ねえ
月乃
『ウィジャボード』
って…知ってる？
えっと…前見た
ホラー映画に
出てたかも
「こっくりさん」の
原型？　だかの降霊術
――…だっけ
それが
どうしたの？

じゃーん！
なんと通販で買っちゃいましたー!!
うわあ…また思い切ったねえ
けっこうデザイン凝ってんだー
そ…それでね もし月乃がよかったら…だけど

これで――
お姉さん…呼んでみない？

えーっと…
アルファベットはローマ字に当てはめるとして
…呼び方は？
んー…分かんないから ここは こっくりさんっぽく呼んでみよっか
ええく？ テキトーだなあ …まあいっか
日向さん
日向さん
おいでください
日向さん
日向さん
おいでください……

………
し――ん……
ありゃ
…なんも起こらない…ね
やっぱ日本語じゃダメかあ～

ままあ次回はこっくりさんでやってみよ！
なんかごめんね肩透かしになっちゃって…

えっ……月乃？
ガラ

やば～…さすがに不謹慎だったかな…
怒らせちゃった

かぜ
くうき
いきをすう
あるいてる
じめんをふみしめて
うごいてる
しんぞう……
ガチャ
私の…部屋…
確か…ここに
日記を隠してて…
……やっぱり
これは…
わたしの記憶…

……どうして……
あんなこと しちゃったの…？
ねえ だめよ…
私はここにいちゃだめなのに
おねがい…
返事して
月乃……

チチチ・
チュン・

おはよう 月乃
自分から起きてくるなんて珍しいじゃな……
ごめんね お母さん 朝ご飯いらない
急いでるの!!

ぺ
たん

あ
あの子…が
なんで…?
どうして……

ざわざわ
ざわ
ざわ

月乃…
返信ないなぁ
ガッコ来てくれれば
いいんだけど…
リサちゃん
助けて!!
もーっ
びっくりしたなぁ
つき…
ギキ
ドキ
…の?
どうしよう……っ
私が入っちゃったせいで
この子が…
この子が!

月乃が

居なく
なっちゃった…っ

『神さまの怨結び』第④巻／完

to be continued……

妹の心を侵蝕していく姉。
陽と陰、相克する姉と妹の心と躰は、
自覚なき暗闇に堕ちていく……。
その逝き着く先は!?

神さまの怨結び

かみさまのえんむすび

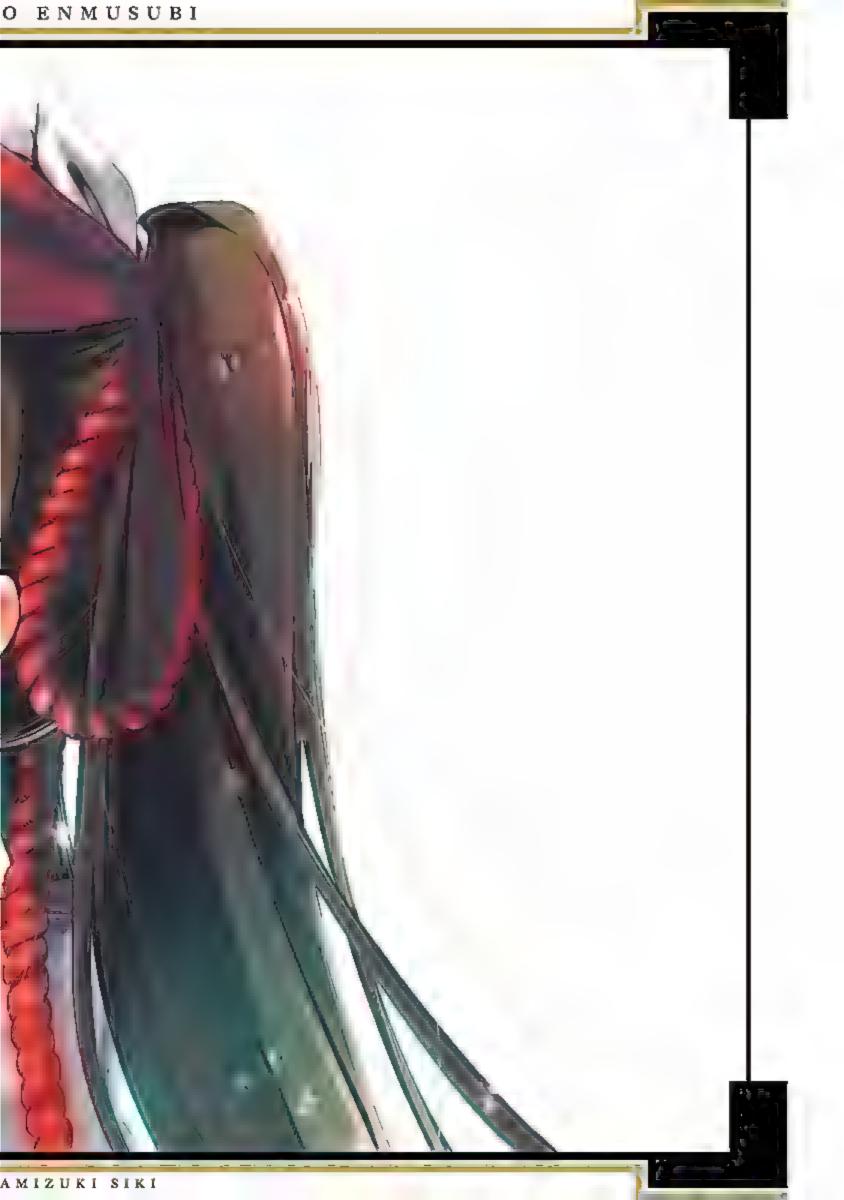
電子特装版

神さまの怨結び 4

かみさまのえんむすび

限定特別画集

守月史貴

Champion RED Comics

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

神さまの怨結び 肆

蛇(くちなわ)

お前甘いもん食い過ぎじゃねえ?

太るぞ

作：かみづき しき

太らんわ
神の妾を人間如きと一緒にするでない

ぷいっ

そうは言ってもこいつ俺よかよっぽど人間ぽいんだよな

中身はともかく

○	お酒弱い	?
○	娯楽	×
○	食事	×
?	睡眠	×

食うだけ食って太らない ってじゃあ食ったもんはどこに…

お買いあげありがとうございます!

神(かみ)さまの怨結(えんむす)び 4

2017年2月1日　初版発行

著　者　　守月史貴(かみづきしき)

発行者　　沖　浩

発行所　　株式会社 秋田書店

〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座 00130-0-99353

印刷所　　大日本印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-23575-4

デジタル版　2017年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com